

Q/A 主な質疑

【湖東三山館】 Q 観光協会のプレゼンの内容、特にパートナー企業との連携について伺う。

A 飲食と物販が成功のカギであるという考えのもと、飲食部門を県内のパートナー企業と連携される。

【街道交流館】 Q 宿泊についてはどのように考えているのか。

A 体験交流滞在施設の宿泊部門は、びんてまりの館のふるさと体験塾やゆめまちテラスのイベントなどとコラボしながら集客を目指しておられる。

議会活動

PICK UP!

議会のペーパーレス化を図るため タブレット端末を導入



タブレット使用している議員

議会では、デジタル技術を活用し、効率的な議会運営を行うため、令和2年1月からタブレット端末の活用について検討を進め、昨年10月に導入した。12月定例会では、試行的に会議資料の閲覧をタブレット端末で行った。今後もタブレット端末を活用し、会議の効率化やペーパーレス化に取り組んでいきたい。

【これまでの議会のICT化の取り組み】

議会放映システムを導入・本会議のインターネット配信・議会だよりにQRコードを掲載・会議録検索システムの導入など

なか がわ まち 栃木県那珂川町議会視察研修

令和6年10月10日～11日の2日間、姉妹都市である栃木県那珂川町へ視察研修で訪問した。那珂川町議会は、議会基本条例の制定における取り組みをはじめ、議会報告会や意見交換会などの活動が評価され、令和5年度全国町村議会表彰を受賞されている。現在、本町議会も進めている議会改革の取り組みを、先進的に進めておられることから視察研修を行った。

那珂川町議会では議員同士が自由な討議を行い、合意形成を図りながらさまざまな取り組みを進めておられる。また、住民に開かれた議会を目指し、議会報告会や団体との意見交換会を実施されるなど、議会の活性化について議会改革特別委員会を設置し協議をされており、本町議会が現在進めている議会改革の参考としたい内容であった。

那珂川町議会の先進的な活動やそれぞれの議員の思いや考え方に触れ、本町議会も議会改革をより一層進めなければならないと強く感じた。



視察研修の様子

主要議案など

PICK UP!

湖東三山館、 街道交流館の 指定管理者

12月20日定例会で

可決

両施設は、令和4年12月定例会で否決となり、指定管理期間を1年間延長し運営してきたが、令和5年12月定例会においても否決となった。その後は町が直営で運営し、街道交流館の飲食については観光協会に委託し実施していた。

今後の方向性について議会と町は協議を重ね、両施設は愛荘町の観光の東西の入り口になる施設であり、観光の情報発信拠点としても重要な施設であることから、地域に精通している事業者が運営を担うことで、地域が活性化するのはないかと意見を集約した。

これを受けて、町は中山道愛知川宿街道交流館は愛荘町観光協会への非公募による指定管理委託を決め、湖東三山館あいしょうについては地域限定の条件付き公募を行い、この施設についても愛荘町観光協会へ指定管理委託を行うことを決めた。

議会では、この2施設の指定管理者の指定について、全員賛成で可決した。(主な質疑はP7)

指定の期間 令和7年4月10日～令和10年3月31日



湖東三山館あいしょう(施設内)



中山道愛知川宿街道交流館